



新年あけましておめでとうございます。

今年も地域で暮らすみなさまのため、精一杯活動をしていきたいと思ひます。私たちWACNETグループは、市民の代表として、この地域に必要なサービスとコンテンツを25年間作り続けてきました。この地域の特徴として、新しい取り組みがなかなか理解されず進まず、途中で一時中断する事業もありましたが、あきらめず粘り強く活動を継続しています。



基本理念 「みんなのしあわせ」

- 1. メンバー、スタッフ、その家族みんなのしあわせを実現する。
- 2. 障がいがあってもなくても、高齢者、子どもたち、病弱者、生活困窮者、すべての人の地域社会の場をつくり、ささあいの自立を進める。自立支援の場、ささあいの場をつくる。
- 3. 地域社会の生活課題・社会課題・問題発見し解決する。
- 4. 地域社会をしあわせにし、活性化させる。

1	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					

今後、グローバル化は、お金の流れがこの地域から奪い、その結果、地域の産業を衰退させ、この地域に長年蓄積されてきたノウハウさえも守ることができなくなります。ひいては、就職先の遠距離通勤や人口減が始まり、生活弱者

に厳しい生活を強いる結果となることとが予測されています。最近感じていることは、時代のスピードが速く、私たちだけでは限界があると感じています。是非多くの市民の方々の参加を期

待っています。行政や企業さまについては、出向で私たちの活動の加わって頂きたいし、高齢者のみなさんには、ボランティアで、会社員のみならず、IT等技術的支援でプロボノでの参加や休日のボランティア活動で、高校生、大

学生には、ボランティアでのマーケットリサーチなど地域の課題を実践面で知ることや、生きたマネジメントを学ぶことができる機会になると思います。是非多くの方の参加をお願いする次第であります。

2025 目標 GOAL

- 1. 18年目の自然栽培農業6次の推進を図る
 - ①4年目桑栽培養蚕事業の確立
 - ②働く障がい者と地域学生ボランティアの増員
 - ③石巻の自然森道パーク構想「桑と健康の里」スタート
- 2. 豊橋・東三河居住支援協議会設立に向けての活動
- 3. 公益財団法人THF（豊橋東三河未来基金）設立の活動
- 4. 地域で不足する高齢者事業及び生活困窮者事業の推進

2	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		

豊橋・東三河まちづくりデザイン会議

みんなで考えみんなでつろう「まちづくり」
第7回 1月18日(土) ぶ!「未来に向けた5つのめざす姿」を実現すために、みんなでできることを考えてみよう!
第8回 2月8日(土)

2025 ファーストスピーチ 加藤 政実 テーマ - 石巻の自然森道パーク構想「桑と健康の里」! 「2025年私たちはどこまで進むことができるのか! 今までの課題の検証とこれからの10年を考える」!
対象 東三河で働く、居住する方なら誰でも可
時間 10:30~16:00
定員 40名 (事前予約要)
参加費 1,000円 (ドリンク付)
申込 0532-52-4315

速報 第15回とよはし音楽祭のノミネート作品が決定しました!

ギザギザ仮面	反省文ロック	神奈川県川崎市
増田 寿昭	青く大きな、この星で	神奈川県横浜市
田中花林	ソウル パレード	静岡県富士市
坂柳 裕右	約束 (ふみこ)	愛知県岡崎市
伊野 美紀子	さんぽ道と雑草の中で	愛知県春日井市
書 完成	宝探し	福井県福井市
栗原 徹	輝き	神奈川県磯部市
中出 幸江	いつも君の側に幸せが	三重県伊賀市
藤田 友人	チェロとピアノとアンサンブルのための協奏曲	埼玉県比企郡
脇田 莉久登	レイトナイト	愛知県岡崎市
ゆえ	空に向かって笑げい	神奈川県横浜
Sharken	和睦の条件	広島県広島市
磯貝 史治	伝えたくてたまらぬのに	愛知県豊橋市
No Woman No Cry	夏から秋へ	奈良県奈良市

第15回目を迎えるとはし音楽祭チャレンジド・ミュージックコンテスト・コンペティション選考会が去る12月19日(木)行われ、出場者及びノミネート作品が次の通り決定しました。本選は、2025年4月12日(土)12時開場13時から豊橋駅前プラトアートスペースを会場に開催されます。乞うご期待下さい。

居住支援フォーラム開催 2/11 13:30 カリオンビル

コラム

VOL. 77 「これからの生き方、2025年」 共生社会に生きる!

天空、漆黒の闇の中に光を放つ小さな星たち、やがて闇が消え薄いスクリーンに包まれる。その先に水平線が見え、ライトブルーの空とそれに連なる雲が広がる。チツチツと鳥たちは朝を告げ鳴き始める。ゆっくりと二羽の鳥が

空を舞う。天空に広がる青い空の一部がピンクに染まる。太陽がゆっくりと顔を出す。朝である。2025年元旦が明けていく。ここ数年、体の劣化を感じながら生きている。まだまだ若い気持ちはあるが、思い通りイメージが実現

できない動作環境を今も抱える。7月から再スタートさせたウォーキングも足底腱膜炎に罹って10月中旬あえなく中断する。今はストレッチや軽い運動で過ごす。年下の従兄弟が、入院中に亡くなり、その母も亡く

なり、独身だったこともあつた。長く続いた私の母方の実家はあえなく断絶かという状態にある。残念で仕方ない。私の周りに生きていく姿を見守ってくださる方

か。時代は大きく動くとして。2025年これからの少し先の未来を考えてみたい。明治維新から約160年。新しい時代が始まる。直近で世界のGDPの約3%が日本のGDPであった年がある。1865年と1945年そして今

年2025年。共に日本経済として底の時代である。でも過去2回は、その時代の侍も農民も国民も企業も一丸となり、来るべき未来を信じて国家を、地域を豊かにしようというエネルギーを感じる事ができた。しかし、今回は少し違

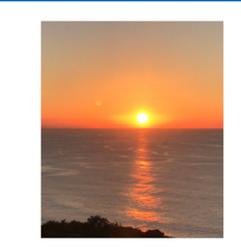
う、国民も企業も行政も一丸となり未来を創っていくという意志が見えてこない。国家という概念は喪失し、地方は失われて、個人欲が旺盛であるが、今現在、生活苦にある人々を支援しようという共生活の気持ちは伝わってこ

い。感じられない。しかし、バラバラにされた一人一人は、ある意味すべてがなくなってしまふ。生き残るかの2者選択にあり15年は、新しい時代を創り出す上での、苦難の時代に入る。もうそれは、自然と

の闘いの中で始まっている。東日本大震災から能登半島地震、毎年繰り返される異常気象による災害。人々が一丸となりまとまり協力していくことが必要で、日本人のルーツ、3万8000年前の縄文人のアイデンティティを私

たちの時代で終わらせるわけにはいかない。私たちのアイデンティティは、未来を切り開き社会を進化させるためにある。ビジョンが見えない安住の社会に未来は約束されない。システムエラーを起こした社会。残念ながら

多くの人々には、現実にも見えていない。物質的欲求にただ満足する。今こそひとりひとりの立場で社会を俯瞰して行動に移して欲しい。自分自身が一番得意な分野で、時間に関係なく夢に働ける環境に身を置いて欲しい



い。周りにいる家族や地域や人のために生きることが、ひとり一人の、しあわせづくりにつながることを実感してみたい。欧米人の考え方に、一見受容しているように見えても本質的には違う日本人。ダミーのアメリカ人や

イギリス人、オーストラリア人になろうとしても、本質的な部分で相容れない。真の根っここの部分を理解して学び直す必要がある。し、この国に生まれた意味を考えてみる。ひとりひとりこのタイミングで生まれてきた意味を考えてみ

てはどうだろうか。建国の歴史をたどってみても、日本は紀元前660年に建国された世界最古の国で、2番目はサンマリノ共和国(301年)、3番目はデンマーク(1016年)、4番目がイギリスのノルマン朝が成立した1066

年。アメリカ合衆国建国は1789年、最近では中華人民共和国1949年、大韓民国1948年となる。世界のどこを見ても、1945年の敗戦を除いて、ひとつの国がこれだけ長く平和に継続した国はない。そしてこの国の再スタ

ートは、地方から始まる。地域創生は、今までの中央集権社会から地域の特性を最大限に生かしたひととを大切にすることをめざす。人がつながるコミュニティ、顔が見えるコミュニティの創造が不可欠で、次に地域経済

を回すためのしくみづくりが必要となる。地域に根差した食文化や地場産業の、今の時代と合わせた再構築も必要といえる。さらに、ここきて思うのは、西洋から持ち込まれた政治システム民主主義も、日本の土壌には合わないよ

うな気がする。多数決で決まったことは、みんなで協力してより早期実現を図るという考え方を持たせていない。汚職と賄賂、反対派がどこまでも最後まで戦うことに無意味さを感じる。暗い話にならないよ

められる役割を、人生を演じきってほしい。冬の空は、鮮やかなコバルトブルーに覆われ、風の冷たさは別に温かい日差しが、そこに暮らす一人ひとりを平等に照らし続けている。生きることに疲れたひと、孤独

を独り占めしたように自分の中に閉じこもる人、何も考えずにロボットのように働き生きる人たち。どんな暮らしの中にあっても自分を責めないこと。自分自身を許す寛容な心があれば、人は人生に向けて再チャレンジ

が可能である。あなた自身で始まるルーツは700年さかのぼると1億3000万人を超える。逆説的に捉えれば、日本人であるの周りで暮らす一人ひとりはあなた自身であり、あなたなのかもしれない。いさかいのない優

しい社会。ダイバシティ、共生社会づくりめざして、これから最低10年間、自分自身の成長を楽しみながら生きていくことをめざす。私たちはみんな近い、ひとつの民族であり仲間なのである。加藤政実

暮らし・仕事・地域生活なんでもワンストップ相談 たすけあい居住支援センター

低所得者・高齢者・障がい者・外国人・子育て世帯等の住宅の確保に配慮が必要な方のための支援センターです。
指定居住支援法人 NPO 法人 たすけあい三河
豊橋市南瓦町14-1 月~土曜日 9:30~19:00 (予約制) TEL 0532-52-4315 担当: 鈴木

WACNET. RECRUIT 2025

誰ひとり取り残さない 地域社会をつくりたい!!

愛は国境を超えていく 地域のしあわせ 世界のしあわせ みんなのしあわせ!!

WACNET.で働いてみませんか!! ミライを創る。専門職を募集します。既成概念にとらわれず、地域社会を変える 活動に参加しませんか。

<募集スタッフ>
サービス管理責任者・サービス提供責任者・相談支援専門員・ケアマネジャー・看聴師・OT・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・管理栄養士・調理師
事前予約は0532-52-4315 担当 戸田、伊奈まで

安全安心な自然食ランチをお楽しみ下さい

予約制

健康の泉 水素水 無料提供 ※ボトル1000円/本 初回は必要となります!

MENU	価格(税込)
・コーヒー (HOT・ICE)	500円
・ティー (HOT・ICE)	500円
・ソフトドリンク (オレンジ・リンゴ等)	600円
・ハーブティー (HOT・ICE)	600円
・カレーランチ (ドリンク付)	1500円

〒440-0823 豊橋市南瓦町14-1 TEL 0532-52-4315

暮らし・仕事・地域生活なんでもワンストップ相談 たすけあい居住支援センター

低所得者・高齢者・障がい者・外国人・子育て世帯等の住宅の確保に配慮が必要な方のための支援センターです。
指定居住支援法人 NPO 法人 たすけあい三河
豊橋市南瓦町14-1 月~土曜日 9:30~19:00 (予約制) TEL 0532-52-4315 担当: 鈴木